

'94ラリーアート賞"ドライバー・オブ・ザ・イヤー"

'94全日本ラリーBクラス
シリーズチャンピオン

鎌田 豊 (CMSC)
道北

'94全日本ダートラAⅣ
クラスシリーズチャンピオン

北村和浩 (CMSC)
岐阜

両
選
手

が受賞!



12月9日、'94ラリーアート賞"ドライバー・オブ・ザ・イヤー"の表彰が行われました。'94年度は、ラリー部門でCMSC道北の鎌田豊選手、ダートトライアル部門でCMSC岐阜の北村和浩選手が受賞いたしました。鎌田選手は'94全日本ラリー選手権シリーズBクラスに三菱ミラージュで参戦して2勝を挙げ初のシリーズチャンピオンを獲得。「19年目にして初めて、念願の日本一になれて本当にうれしく思っています。'95年も'94年以上に頑張りますので、皆さんも気合いを入れて頑張って下さい。本当にあり

がとうございました。」とコメントにもある通り感激ひとしおといったところ。また、'94全日本ダートラAⅣクラスシリーズチャンピオンに輝いたCMSC岐阜の北村和浩選手は「'93年の骨折から立ち直ってから、焦る気持ちを押さえながらの1戦目から優勝という好スタートを切れました。苦手な丸和を克服した5戦目で優勝し3勝目を挙げてこの



鎌田選手の走り喜びの表彰式(上下段とも左)、北村選手の走り喜びの表彰にて(上下段とも右)

栄冠を獲得できました。来年もより一層頑張ります。

ありがとうございました。」と今年も快走を見せてくれそうです。

CMSC群馬 飯塚恒守

'94香港～北京ラリーに参加して

10月22～28日の1週間で行われた香港～北京ラリーに三菱ランサーディーラーチームのディーラーメカニックとして参加してきました。

私は光栄にも株コスク札幌社長の河崎さん、ラリーアートの増岡さんとサービスカーに同乗させてもらい、交替で運転とナビゲータをしてサービスポイントを移動するという形でした。河崎さんは篠塚選手のランサーの足廻りを作られたとの事で、メカニックとしての知識とアイデアは素晴らしいものがあり大変勉強になりました。増岡さんのドライブテクニックはサービスカーの運転でも驚くものがあり、もしこのラリーでサービスカー部門があったら優勝していたのではないかと思います。また2人とも気さくな方でとても楽しく過ごせました。

今回は3台態勢ということでラリーアートヨーロッ

広大な国で貴重な経験

パ、ラリーアート香港等との合同チームでしたので各国の方々とコミュニケーションには言葉も十分に通じず戸惑いました。最初のサービスでは緊張も手伝って何をやっているのか分からないような状態でしたが、徐々に慣れてくると言葉のもどかしさも楽しさに変わり、サービスでも適度な緊張で作業が出来ようになりました。

余裕がある時は中国のすばらしい景色が目につきます。中国の景色は変化に富みスケールが大きく、ヨーロッパ風の田園風景やグランドキャニオンのような所もあり、まるで世界中を旅行しているようでした。移動途中で屋台で食べたラーメンも忘れられない味です。その他通常ではまず得られない経験を数々しましたが、中でも最終日早朝1時からのサービスカーの移動で視界10m前後の濃霧が延々200kmぐらい続く高速道路を、サービスタイムに間に合う為に睡眠&疲労と戦いながら必死で目をこらして運転したことが一番印象に残っています。ゴール後、首筋が張り3日位首が回りませんでした。きっと河原さ



ん、増岡さんも寿命が縮む思いだった事でしょう。今回はどの程度チームの役に立てたか分かりませんが、出来ればもう一度何らかの形で参加してみたいと思っています。また、天安門広場の感激のゴールまで無事とり着けたのは、選考会からお世話になりましたラリーアート、タスカエンジニアリング、三菱自動車他ディーラーメカニックの方々、迷惑、怖い思いをさせたであろう河崎さん、増岡さんそして応援していただいた皆様のお陰だと感謝しております。ありがとうございました。

会員の皆様の よりいっそうのご活躍を

あけましておめでとうございます。

CMS Cが発足して既に30年余。その間、モータースポーツを愛する者達の集まりとして順調に発展し続けて参りました。既に、全国に19支部700余名のメンバーを擁する大組織となったいま、会員の皆様には、今後もCMS C会員であるというプライドを

大切にしていだきたいと願うと同時に、これまで会の発展をずっと支え続けて下さいましたことを、いまさらながら厚く感謝致したいと存じます。

さて、会員の方々にとって、昨年はどう的一年でしたでしょうか。年頭にあたりまして、皆様それぞれに昨年を振り返って感じる事、新しい年に対する期待や希望など、様々な思いがおりだと想像致します。わがCMS Cにとりましては、'94年はなかなか充実した一年であったのではないのでしょうか。全日本チャンピオンを前年に続き2人、そし

て地区チャンピオンも3人輩出する等各種競技会等ではクラブ員の活躍ぶり、上位入賞の嬉しい知らせが続々と聞こえてきました。各支部の主催大会は、年々盛大になってきていますし、着実にモータースポーツの普及に貢献し続けていると考えております。最後になりましたが、会員の皆様がいっそうご活躍されることを、あらためてお祈り申し上げます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

(CMS C会長 外川一雄)

CMSC香川 高竹優之

G地区ダートLANクラスシリーズチャンピオン

9戦中優勝8回、2位1回。これが私の'94年の戦績です。ラリーからダートに転向して8年程になりますが年間8勝というのは過去最多勝率であり、5年連続でチャンピオンになる事ができました。

4月に開催された全日本第2戦の四国ラウンドは、地元ということで家族や友人の応援を受け、大激戦の中トップテンに入賞でき非常に思い出深いイベントとなりました。車は今シーズンもランサーEvo. Iで参戦してきました。車輛規定の変更やEvo. IIの登場で苦しい戦いでしたが、この様な成績を収めることができ最高のシーズンでした。今年も地方選手権チャンピオンと全日本上位を目指し頑張ります。



▲高竹選手

▼栗澤選手



CMSC道北 栗澤 傑

A地区ラリー-Bクラスシリーズチャンピオン

A地区ラリーシリーズに参戦して足掛け5年目となる私にとって、チャンピオン獲得は長年の目標でした。'93年はシリーズ5位と低迷したこともあり、'94年も目標を達成出来なければ、'95年は活動を休止しようとして「背水の陣」の危機感で望みました。その甲斐あって、自分でも順調すぎて不安になるほどの快進撃を遂げることが出来ました。今回目標を達成できたのは、所属するカマスポーツ代表でCMS C道北会長である鎌田さんを始めとする、応援していただいた皆様のおかげと感謝しております。有難うございました。今年からはプライベートドライバーとして、新たな目標に向け頑張ります。

CMSC仙台 11月13日

もみじ狩りダートトライアル'94

CMS C仙台恒例のもみじ狩りダートトライアルがオートスポーツランド川崎で11月13日に開催されました。今回でもう6回目になります。思えば毎年悪天候で晴れの日のイベントの記憶がありません。今回は宮城県県の最終戦でもあり、エントラントは気合いが入っています。

当日は、やはり今回も朝からの強い風、時々雨が降ってくる最悪の天気の中、オフィシャルはガタガタふるえながらコースに入って行きました。参加台数は58台。今回のコースは一言でいうとミスコースしやすいコースです。エントラントはミスコースのないように！

クラスIはシティをドライブする丹治選手が優勝。クラスIIは13台中9台がミラージュで殆どワンメイ

ク化していました。4WDと2WDのMIVECの一騎打ちでしたが、やはり2WDのMIVECは速かった。白坂選手が1分10秒台のタイムで他車をぶちぎり優勝しました。30PSの差がタイムに出ました。クラスIIIはランサーエポリューション一色と言ってもいいほど。1トライ目に1分8秒、2トライ目に1分7秒を出した折川選手でしたが2トライ目のパイロンタッチで4位へ。残念の一言です。あの速さにはスタッフ一同驚きました。結果は安定した走りを見せた、はるばる横浜よりエントリーしてくれた梅津選手が優勝しました。クラスIVはタイヤのバーストなどでスタート順が変わったりしたものの大きなトラブルはありませんでした。クラスVではついに転倒車が出ましたが、1回転し、またコースに復帰しドアが開きながらも完走しました。

レースを終え、CMS C仙台的「名物」いも煮で心と体をあたためました。表彰式は太っ腹のCMS C仙台と佐藤会長の、年に一度の大判振舞い。優勝



者は飲酒運転にならないようにシャンパンの代わりに三ツ矢サイダーのシャワー!?今回からこれにしました。皆さん免許証は大切に。たくさんの商品を手に入れたら帰路につきました。エントラントの方々、どうもありがとございました。今回もトラブルなしで順調にイベントを終了することが出来ました。クラブ員の皆様ご苦労様でした。

(CMS C仙台 高橋 清)

只今健闘中！～オールスターダートラリー

大井こずゑ選手、涙の逆転優勝！

「1日目のミスコースのダメージも2日目は何とか薄れ、自分の精一杯の走りをして逆転できました。今年は、楽な一年ではなかっただけに喜びも涙へともわかりました。私を支えてくれる方々の大きさを再認識させられたこの一年、感謝の一言です。」



レディースクラス
CMSC群馬
大井こずゑ



レディースクラス
CMSC浜松
西川美佳